

主な事業

一人ひとりを大切にするまち

高齢者・障がい者福祉、地域医療・保健事業、生涯スポーツなど

倶知安厚生病院運営の支援	継続	1億4,000万円
救急医療体制の整備・充実	継続	2,812万円
福祉ハイヤー・バスの利用助成の実施	継続	1,447万円



やる気いっぱいのまち

農林業・観光・商工業の振興、企業誘致など

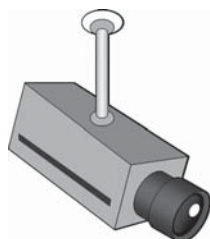
プレミアム商品券発行事業	継続	900万円
サンスポーツランド内部改修(観光広域連携事務所として)	新規	750万円
特産品の全国ブランド化確立事業	継続	184万円



安全に暮らせるまち

防災と消防、交通安全と防犯など

街路防犯灯の設置費・維持費の補助	継続	1,456万円
ひらふ地域における防犯カメラの設置の補助	新規	195万円
防災用備品等の購入	継続	915万円



子どもが心身ともに健やかに育つまち

教育の振興、児童福祉と少子化対策など

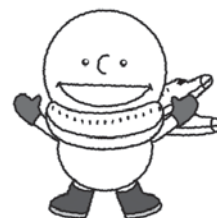
妊産婦や乳幼児の健診の実施	継続	1,593万円
各学校への学習支援員の配置	継続	1,100万円
学校給食センター移転改築予定地の搬入路設置工事	新規	233万円



人と人とのつながりがあるまち

地域交流と国際交流、生涯学習など

サンモリッツ姉妹都市提携50周年記念事業	新規	1,066万円
外国人転入生への通訳の派遣	継続	288万円
文化福祉センター大ホール椅子の洗浄	新規	90万円



次の世代に引き継げるまち

環境対策、道路と除雪、公営住宅、都市計画、新幹線と高速道路など

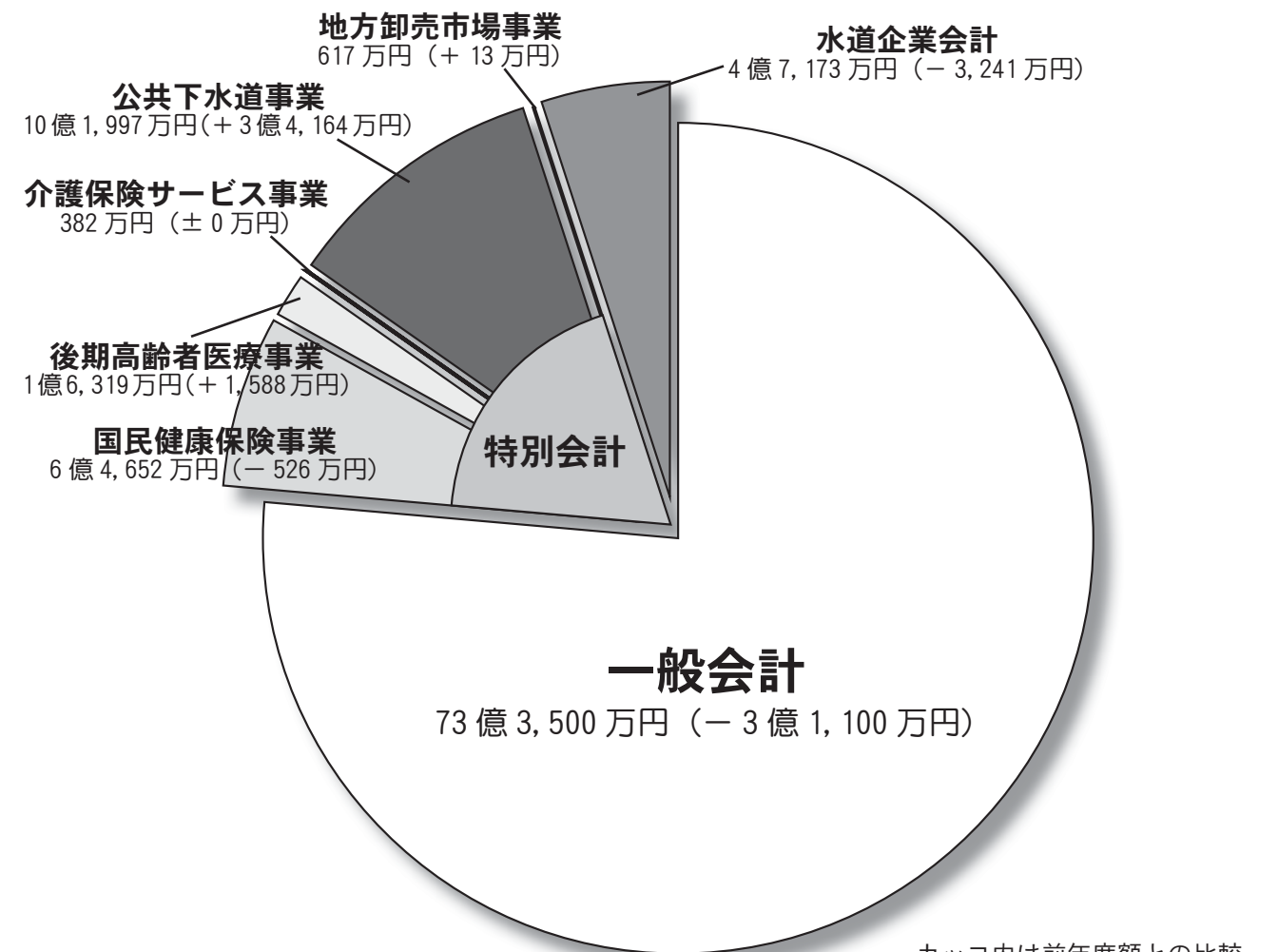
ノースパークタウン秋棟の長寿命化等改善工事	新規	1億5,190万円
寒別橋の修繕	継続	8,000万円
新幹線倶知安駅周辺地区のまちづくり基本調査の委託	新規	516万円

平成26年度予算特集 新年度予算について

予算総額

予算とは、1年間に町が収入し、支出するお金の見積もりです。
予算総額は一般会計※と特別会計※と水道企業会計※の額を合わせたものです。

平成26年度当初予算総額は96億4,640万円



カッコ内は前年度額との比較

※用語解説

一般会計は、税金を中心とした収入で、福祉・教育・道路など幅広い範囲の事業を行う会計です。

特別会計は、特定の収入で特定事業（国保・後期高齢者医療・介護保険・下水道・地方卸売市場）を行う会計です。

国保会計…主に、国民健康保険加入者の医療費を給付します。

後期高齢者医療…主に、75歳以上の方の医療費を給付します。

介護保険サービス…主に、地域包括支援などの介護事業の運営管理に必要な経費を支出します。

公共下水道…主に、下水道管や下水処理施設の整備や維持管理を行います。

地方卸売市場…主に、町地方卸売市場施設の維持管理を行います。

水道企業会計は、独立採算による事業を経理する会計です。水道会計の予算額は支出の総額です。主に、水道水の供給や水源、水道管の整備や維持管理を行います。

一般会計 当初予算額

一般会計当初予算額は、町の行政運営の基本的な経費を全て計上した予算である一般会計で収入し、支出するお金の見積もりです。

一般会計

<< 予算総額 73

の状況

億 3,500 万円 >>

歳入解説

地方交付税…まちが安定した運営ができるよう国から交付される税。町の中心となる収入。

町税…町民税（個人・法人）、固定資産税、たばこ税など。町の中心となる収入。

国庫支出金…事業を行うために国から交付される負担金、補助金など。使い道が決められている。

町債…不足する財源を補うための借金。

財産収入・寄附金…町所有の財産の貸付料や売却料、町に寄附されたお金など。

繰入金…町の事業を行うのに不足する財源を補うための資金。基金（町の貯金）を取り崩して充てる。

道支出金…事業を行うために道から交付される負担金、補助金など。使い道が決められている。

地方譲与税ほか…国から分配される税や交付金。地方消費税交付金、自動車取得税交付金など。

諸収入…町の事業で得た収入。給食費やごみの受入収入など。

使用料及び手数料…町の施設を利用した際の使用料や住民票など町が発行する証明に関する手数料。

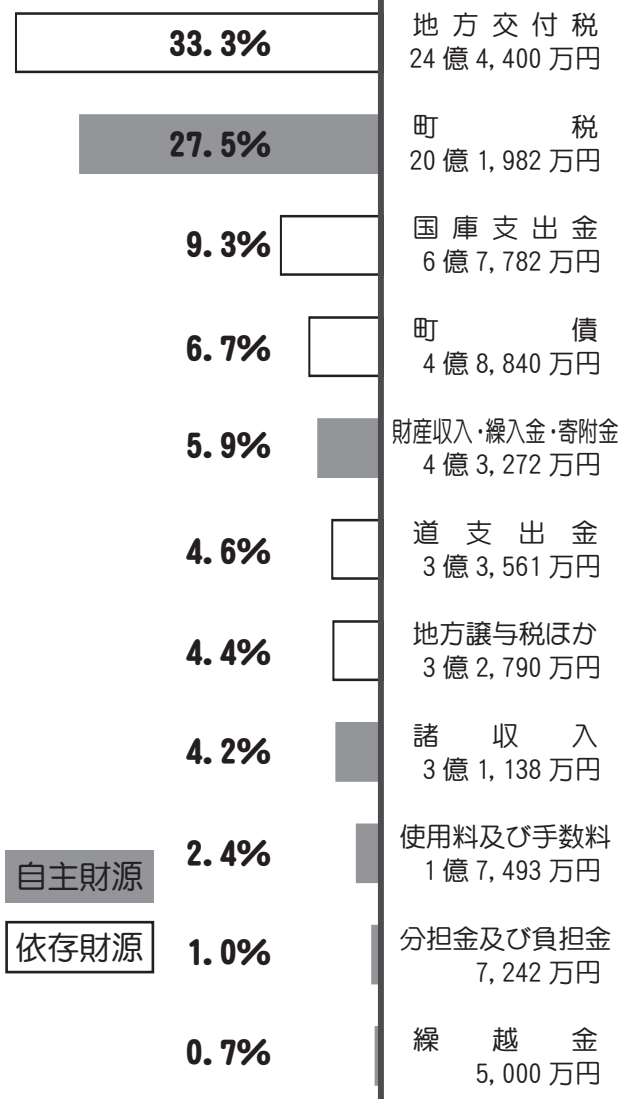
分担金及び負担金…法律や条例で定められている施設の利用料など

繰越金…前年度あまったお金。

まちに入るお金（歳入）

○自主財源 30 億 6,127 万円（41.7%）

○依存財源 42 億 7,373 万円（58.3%）



自主財源

依存財源

歳入の用語解説

◆ 自主財源

町が独自で得ている収入。

◆ 依存財源

国や道などから交付される収入や町の借金。

平成 26 年度、倶知安町は収入の約 4 割（41.7%）を町税などの自主財源としている一方、約 6 割（58.3%）は国や道などからの収入・借金で賄っており、比較的国などの施策に影響を受けやすい。

歳出解説

お金の主な使い道を紹介します。

民生費…福祉、児童館・児童クラブ、保育所のために

土木費…道路や除雪、町営住宅、公園、新幹線のために

教育費…学校教育、生涯教育のために

総務費…町の事務管理、庁舎管理、町民活動推進
交通安全対策、選挙のために

衛生費…医療、ごみの収集・処理、検診や予防接種のために

公債費…町の借金の返済のために

消防費…消防組合への負担金、防災のために

農林水産業費…農業、畜産業、林業のために

商工費…企業、商店街、観光のために

議会費…議会、町議会議員のために

労働費…労働者、労働施設のために

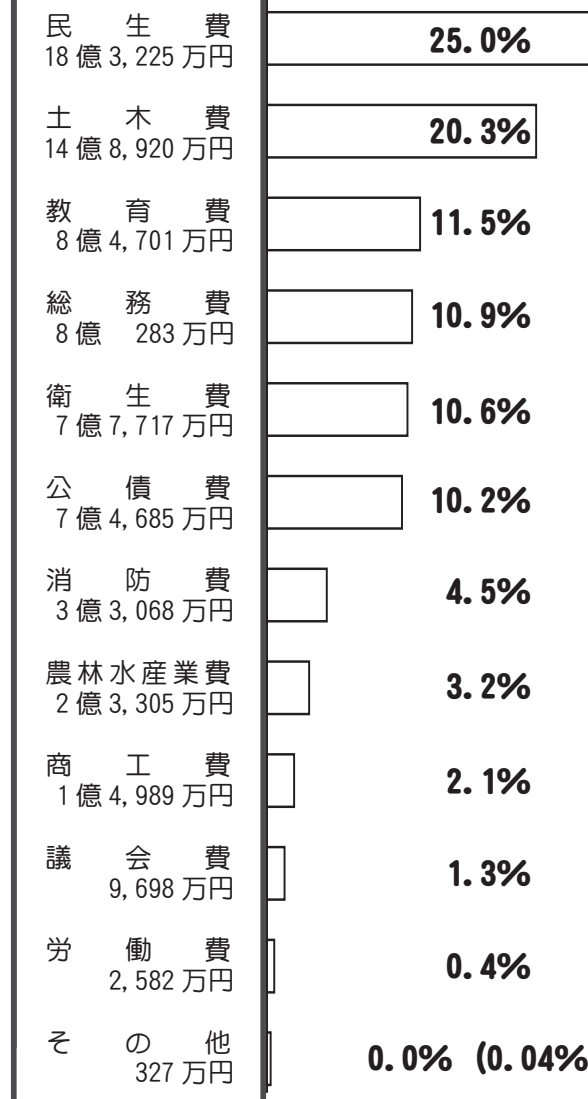
その他…災害復旧費、予備費

まちで使うお金（歳出）

○義務的経費 28 億 736 万円（38.3%）

○投資的経費 7 億 8,164 万円（10.7%）

○その他 37 億 4,600 万円（51.0%）



歳出の性質別構成比

◆ 義務的経費

○人件費 13 億 3,198 万円（18.2%）
○公債費 7 億 4,682 万円（10.2%）
○扶助費 7 億 2,856 万円（9.9%）

◆ 投資的経費

○普通建設事業費 7 億 8,087 万円（10.7%）
○災害復旧事業費 77 万円（0.01%）

◆ 義務的経費

…毎年必要となる経費で、割合が低くなると他の施策・事業に財源を多く費やすことができる。

◆ 投資的経費

…道路や建物に関する事業や町の大型事業に係る経費となる。